

幼稚園だより

令和8年5月1日

5月号

荒川区立花の木幼稚園

園長 竹下 佳余

新しい世界へ

園長 竹下 佳余

若葉の緑が、日ごとにすがすがしく感じられる5月です。子ども達も新年度から1か月が経ち、新しい環境にも少しずつ慣れ、明るい陽の光と爽やかな風の中で元気いっぱい活動しています。いるか組の子どもたちは、引き継いだ係のお仕事に励んでいます。仲間と力を合わせて取り組む姿に”流石”と声を掛けたくなるほどです。こあら組の子どもたちは、教室が2階になったことに新鮮さを覚え、上手に空間を使って様々な遊びを楽しんでいます。ひよこ組さんはというと、園生活に馴染む速度が予想以上に早く、あまり涙を見せることなく一日のスタートがきれいです。

花の木幼稚園「経営方針」でお話したように、今年度は、子どもたちの「何だろう、面白そう、もっとやってみよう」といった探究心を養い、花の木幼稚園大発見『見～付けた!』がたくさん巻き起こるように、教育活動を展開していきたいと思っています。

保護者の皆様には、子どもたちの話に耳を傾け、自分なりの発見に自信がもてるような関わりをしていただけましたら幸いです。自分の発見に他の誰かが興味をもってもらえることは大きな喜びであり、かけがえのない経験となります。今月もどうぞよろしく願いいたします。

5月の保育のねらい

《3歳児 ひよこ組》

- ・園生活に慣れ、安心して過ごす。
- ・教師に親しみをもち、自分の好きな遊びを見付ける。

《4歳児 こあら組》

- ・新しい園生活に慣れ、自分でできることを自分でしようとする。
- ・自分のしたいことを見付けて遊び、楽しさを感じる。

《5歳児 いるか組》

- ・進級した喜びを味わい、生活や遊びに意欲的に取り組む。
- ・個々の興味を深め、友達や教師とのつながりを楽しむ。

